

令和6年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名 : 南大隅町長、南大隅町議会議長、南大隅町農業委員会

1. 全職員に係る情報

| 職員区分 | 男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------------|---------------------------------|
| 任期の定めのない常勤職員 | 103.5 % |
| 任期の定めのない常勤職員以外の職員 | 95.7 % |
| 全職員 | 81.3 % |

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

| 役職段階 | 男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------|---------------------------------|
| 本庁部局長・次長相当職 | — % |
| 本庁課長相当職 | 96.0 % |
| 本庁課長補佐相当職 | 99.0 % |
| 本庁係長相当職 | 100.9 % |

(2) 勤続年数別

| 勤続年数 | 男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|----------|---------------------------------|
| 36年以上 | — % |
| 31～35年以上 | 95.7 % |
| 26～30年 | 96.3 % |
| 21～25年 | — % |
| 16～20年 | — % |
| 11～15年 | — % |
| 6～10年 | 93.5 % |
| 1～5年 | 96.3 % |

【説明欄】

- ・医師については、他の職と比べて給与水準が大きく異なることから、集計対象外としている。
- ・「任期の定めのない常勤職員」区分においては、主事級職員のうち 74.2%を男性職員が占めていることから、男性の年間平均給与額が下がり、女性の給与の割合が高くなっている。
- ・「全職員」区分においては、女性職員のうち 63.2%を会計年度任用職員が占めていることから、割合が下がっている。
- ・「本庁部局長・次長相当職」区分には該当の職員がいないため、公表なし。
- ・「勤続年数 36 年以上」区分においては、女性職員が 1名しかおらず、特定の職員の給与が推測し得ることから、公表の対象外とする。
- ・「勤続年数 21～25 年」区分においては、女性職員が 1名しかおらず、特定の職員の給与が推測し得ることから、公表の対象外とする。
- ・「勤続年数 16～20 年」区分においては、該当の女性職員がいないため、公表の対象外とする。
- ・「勤続年数 10～15 年」区分においては、該当の女性職員がいないため、公表の対象外とする
- ・男女の給与の差異の要因として、扶養手当や住居手当については、男性が世帯主となっている場合が多く、受給者に占める男性職員の割合は扶養手当が 82.3%、住居手当が 87.5%となっている。

※ 勤続年数は、採用年度を勤続 1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。